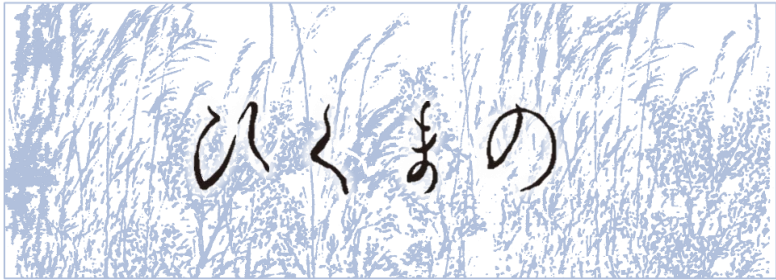




ひくまの：浜松医科大学附属図書館報. No. 75

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学附属図書館 公開日: 2025-03-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 浜松医科大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/0002000365

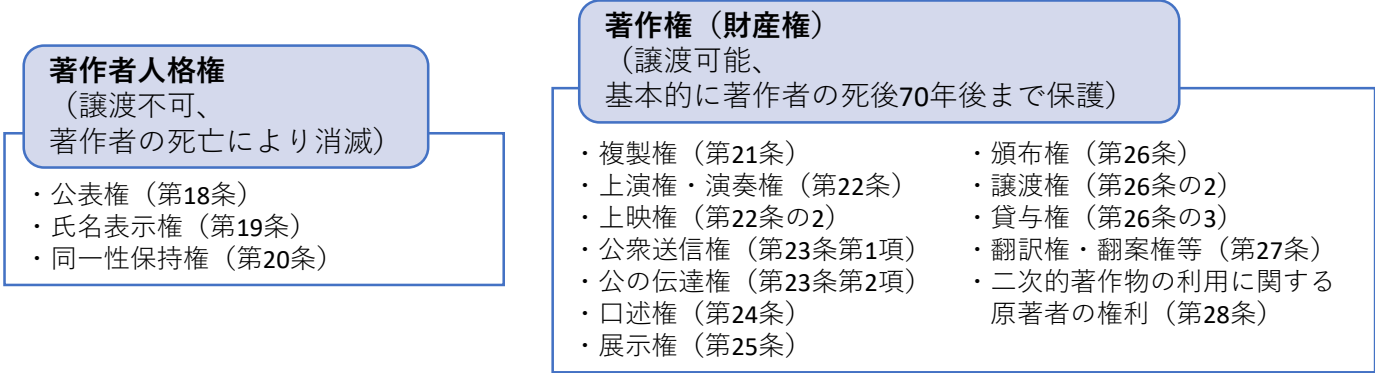


Hamamatsu University School of Medicine Library Bulletin “Hikumano” No.75 Mar, 2025



著作権と権利制限規定

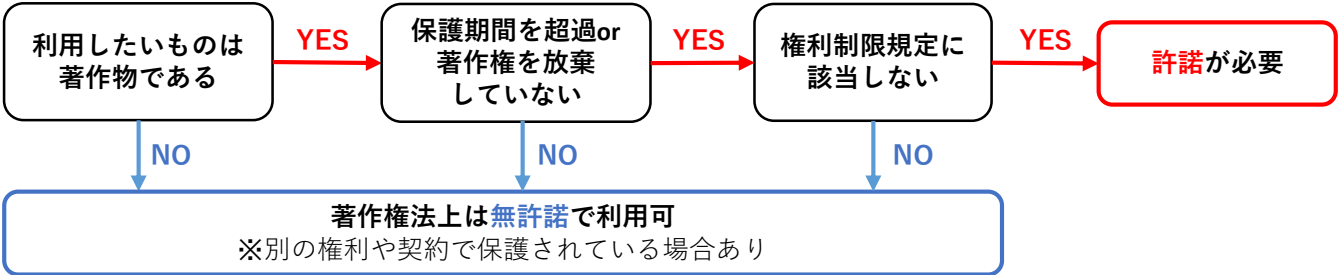
著作権は、著作物に関して著作者が保持する利用に関する権利及び隣接する権利の総称です。そのうち、著作者が保持する権利は大きく分けて「著作者人格権」と「著作権（財産権）」があり、譲渡の可否や保護期間が異なります。



■権利制限規定

原則、著作物利用の際は著作権者の許諾が必要ですが、著作権法では著作物の公正な利用を考慮し、例外的に著作権者の許諾を得ずに著作物を利用できる場合を規定しています。著作権者の権利を制限して利用を認めることから、この規定を「**権利制限規定**」といいます。「私的利用のための複製（第30条）」、「引用（第32条第1項）」、「図書館等における複製等（第31条）」などの規定があります。

著作物利用の流れ



大学においては学習・研究のため著作物を利用、創作することが必要不可欠です。著作権がどのようにかわるのか、3つのケースをご紹介します。

ケース1
レポートで著作物を引用

権利制限規定の一つ、著作権法第32条の引用の規定に該当します。引用の際は

- ・公表された著作物であること
- ・公正な慣行に合致すること
- ・報道、批評、研究その他のほかの目的上、正当な範囲内であること
- ・出典を明示すること

のすべての条件を満たす必要があります。

ケース2
論文出版

論文出版の際に、出版者への著作権譲渡を求められることがあります。譲渡後は著者であっても、著作権者である出版者の権利を侵害しない範囲で利用する必要があります。ただし、著作者人格権は譲渡できないため、著者が保持し続けます。

ケース3
授業資料として著作物を複製、配布

権利制限規定の「学校その他の教育機関における複製・公衆送信等（第35条）」に該当し、授業のために必要な限度内の複製や公衆送信が認められます。

- ・問題集等、学生一人一人の購入を想定して販売されている著作物の複製
- ・一著作物をまるごと複製、配布

といった「著作権者の利益を不当に害する行為」は対象外となります。また、公衆送信を行う場合は補償金の支払が必要となる場合があります。

参考：
[授業目的公衆送信補償金制度とは | 一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会](#)

図書館と著作権

図書館は著作物を扱うことから著作権とは切っても切り離せません。図書館のサービスは著作権法の、主に権利制限規定に基づいて行われており、「図書館のコピー機は図書館資料しかコピーできない」といったルールも著作権法の規定に起因しています。

- 図書館サービスと対応する規定
- 貸出、閲覧 ← [営利を目的としない上演等（第38条）](#)
 - コピー（複写） ← [図書館等における複製等（第31条）](#)



近年では令和3年の著作権法改正により、補償金を支払うことで図書館が資料の複製物を電子的手段で送信できるようになりました。これを受け、国立国会図書館は令和7年2月20日より「**遠隔複写（PDFダウンロード）**」のサービスを開始しています。（個人での申し込みが可能です。）

（参考）[遠隔複写サービス | 国立国会図書館—National Diet Library](https://www.ndl.go.jp/jp/copy/remote/index.html)（<https://www.ndl.go.jp/jp/copy/remote/index.html>）

■ 電子資料と著作権

図書館が扱う資料の中でも電子ジャーナルを始めとした電子資料は、利用規約により著作権法に規定のない利用方法について定められている場合があります。利用の際はご注意ください。

- 例）出版社A：購読機関所属者は、学術目的であれば研究グループ内で論文を共有できる。（学外者も可）
出版社B：非オープンアクセス論文は購読機関内でのみ共有できる。



・ [Creative Commons License（CCライセンス）](#)



左のようなCreative Commonsマークを見たことはあるでしょうか。Creative Commons License（以下、CCライセンス）は「自由な著作物利用をどのような条件であれば認めるか」という著作権者の意思を示す国際標準規格です。CCライセンスを付与すると、許諾のやり取りの手間を減らしつつ著作権者の意に沿った形で著作物が利活用されることが期待できます。利活用の促進を目的の一つとするオープンアクセスにおいては、CCライセンスの付与が推奨されています。

BY（責任表示記載）、ND（改変禁止）、NC（営利目的禁止）、SA（元の作品と同じCCライセンスの付与）という4つの条件の組み合わせで6種類のライセンスが表現されます。

（参考）[クリエイティブ・コモンズ・ライセンスとは | クリエイティブ・コモンズ・ジャパン](https://creativecommons.jp/licenses/)
（<https://creativecommons.jp/licenses/>）

館長挨拶

間賀田 泰寛

浜松医科大学 光医学総合研究所 先端生体イメージング研究部門
分子病態イメージング分野 教授

近年図書館においても様々なところで電子化が進んでいます。利用する側とすれば、なにより論文の電子化が実感されると思います。学会が発行する論文誌もオンライン版中心となり、印刷物は別途費用を払わなければ得られない学会も多くなりました。

はるか昔の大学院生時代、論文を探すには図書館に行って、米国National Library of Medicine (NLM) が出版していたIndex Medicusという論文検索誌で探す必要があり、目的の論文に当たるまで数日図書館に籠るのが普通でした。1879年以降の医学系雑誌について収録していたそうで、キーワード検索版や著者名検索版など数種類あったように思います。医学史的には医学知識における米国の最大の貢献であると言われていますが、その通りかと思います。自分の調べたいキーワードについて、この辺りの年代かなと予想しつつ分厚い冊子を書庫から何冊も下ろして検索し（キーワードも数段程度は階層化されていたと思います）、論文掲載情報を数十個程度集めました。

それでも、いざその論文を読むとしても蔵書が無いという事はざらであり、当時であれば大阪大学附属図書館の中之島分館に依頼するなどしてコピーを取り寄せるという状況でした。それでも探していたような内容の論文であればまだしも、外れることも多く、コピー代の無駄と怒られながら、またIndex Medicusとの格闘になったものです。

1990年前後にはNLMもサーバー上でのデータベース化を進め始めており、日本からも図書館のPCからカプラーを使って国際電話回線経由で検索できるようになってきていました。便利だなあとは思ったものの、電話代が高くつくため、めったに使わせて貰えませんでした。1990年代半ばには国立大学内でもインターネットの整備が進み、文献検索についてもNLMのOvidが使えるようになり始めたものの、当時は利用料が高く、研究者間で一人1万円の出資で人数を集め、5つぐらいのアカウントを貰って皆でシェアしながら検索する、などというグループも出来ました。私も自費で参加しましたが、

全部で何人参加していたのか記憶にないものの、5つ程度のアカウントでもそれほど皆の利用が集中することも無く、無制限に検索できるようになった時には時代の進歩を感じたものです。

その後はMEDLINE、PubMedのサービスが順次進展し、現在のような状況になっています。近年はその次の問題として、雑誌購読料の高騰が大きな問題となってきています。本邦では以前より大学図書館が中心となって出版社と団体交渉を行い、価格の適正化に努めていますが、最近は新たにOASEという集団交渉のための組織が立ち上がりました。この組織は、内閣府によるオープンアクセス推進の一環として発足し、オープンアクセスにまつわる経済的負担の適正化を目標に活動しています。なかなか特効薬のある問題では有りませんが、なんとか良い方向へ向くように活動が進んでいますので、利用者の皆様からも忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

図書館からのお知らせ

浜松医科大学附属図書館

Elsevier社トランザクションで論文が読めます

エルゼビア社の電子ジャーナル(ScienceDirect)の購読方法として、論文単位で購読する「トランザクション」を導入しています。購読誌として契約していない非購読誌について、1論文毎に購読料を支払うことにより利用することができます。

利用にあたっては、エルゼビア社ScienceDirectサイトでの事前登録と図書館への申請が必要であるとともに、料金の半額(1,200円+税 *2025年3月現在)を利用者側(所属部署の経費)でご負担いただくこととなります。

詳細は以下の[利用申請\(学内者限定\)](#)ページをご確認ください。

<https://www.hama-med.ac.jp/lib/use/guide/shinseisyo.html#transacti>
[on](#)

Wiley社電子ジャーナルのパッケージ化

2025年1月よりWiley Online Libraryのパッケージに契約を変更しました。医学・看護学分野の385タイトルが利用可能です。

APC免除について

2025年1月から出版社の資金調達モデルの変更に伴い、下記出版社の購読誌について本学所属の投稿者が責任著者(Corresponding Author)として出版する際、論文掲載料(APC)が免除されます。(論文はオープンアクセスになります。)

- ・ American Physiological Society
- ・ American Society of Microbiology

詳細は[研究支援\(学内者限定\)](#)ページをご確認ください。

<https://www.hama-med.ac.jp/lib/apc.html>

令和7年度 浜松医科大学附属図書館開館予定表

* 開館時間に変更となる場合がありますので、最新情報は図書館HPでご確認ください

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□: 平日 9:00-20:00 □: 土・日曜日 10:00-17:00 □: 図書館休業期間 9:00-17:00 □: 休館日

※開館時間にかかわらず、学内者と卒業生は特別利用(24時間利用)ができます。

浜松医科大学附属図書館報「ひくまの」No.75 2025年3月21日 発行

編集・発行: 浜松医科大学附属図書館

〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目20番1号 TEL: 053-435-2170 / FAX: 053-435-5140